

クローズアップ

東映アニメーション新大泉スタジオ



建物外観

北島 常義

(Tsuneyoshi Kitajima)
東芝エレベーター株式会社
東京支社 営業技術部

1. はじめに

西武池袋線大泉学園駅徒歩15分程の場所に、日本の文化であり数々の名作を世界に発信してきたアニメーションスタジオが生まれ変わりました。

旧スタジオのイメージを引き継ぎ白を基調としています。

南北面のダブルスキャン・ファサードは、外部騒音の抑制や熱負荷低減、さらに自然換気を併用する機能的な外装で街に溶け込むデザインとなっています。

また、スタジオ内は、全面床吹出し空調による天井レスにより、開放感ある快適なスタジオ空間と環境技術が盛り込まれた他、免震構造の建物となっています。

2. 建物概要

所在地：東京都練馬区東大泉二丁目10番5号

建築主：東映アニメーション株式会社

設計監理：清水建設株式会社

施工：清水建設株式会社

建物用途：事務所、物販店舗、自動車車庫、
駐輪場、 駐車場

敷地面積：5,600㎡

建築面積：2,772㎡

延床面積：9,804㎡

構造：鉄骨造（柱CFT造）、免震構造

階床数：地下1階、地上4階

工期：2016年1月4日～2017年8月31日

竣工日：2017年8月31日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、展望用エレベーター2台、人荷用エレベーター1台の計3台が設置されています。

展望用エレベーターは、昇降路全面がガラス張りとなっており、かご内からオフィスが垣間見れるなど、先進的に開かれたオフィス環境を創出しています。

乗場意匠は、ステンレス製パイプレーション仕上げの二方枠及び幕板扉同面とし、縦枠にホールランタンと乗場ボタンを組み込んだデザインで全階統一されています。

かご内は、ガラスクロス天井とステンレス製パイプレーション仕上げを採用し、大型手摺りに操作パネルを組み込ませたスタイリッシュなデザインとなっています。

また、BIMモデルの活用により、昇降路内部の鉄骨の見せ方や展望用エレベーターの美観対策などの理解が深まり、細部に配慮した設計ができたことで、エレベーターホール及び昇降路、吹き抜け空間、かご外装の一体感を持たせた演出が臨めます。

クローズアップ



展望用エレベーター乗場



展望用エレベーターかご室



展望用エレベーター外観



昇降路外観

エレベーター仕様 (計3台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	群乗合全自動方式	1350	20	90	1	4 (1~4)	東芝	展望用
2	〃	〃	〃	1350	20	90	1	4 (1~4)		展望用
3	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1150	17	60	1	5 (B1, 1~4)		